

第5学年1組 国語科学習指導案

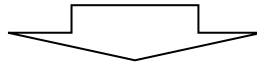
1 単元名 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう「天気を予想する」

2 単元設定の理由

【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期に説明文「見立てる」「生き物は円柱形」で、筆者の論の進め方を考えたり、要旨をまとめたりする学習を行っている。また、筆者の論の進め方に対して自分の考えをもつ学習を経験してきている。

そこで、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりさせたいこの期に、本単元を取り上げる。そして、筆者の意図を捉えて、根拠をもとに自分の考えを表現することができるようにしていく。



【教材について】

- 本単元は、文章構成、図・表・グラフ・写真の意図を考えることを通して、筆者の説明の工夫を捉えることをねらいとしている。
- 本教材は、3つの問いと答えで構成されていたり、図表や写真が取り上げられたりしており、筆者の論の進め方に着目しながら読み進めることができる教材である。筆者の説明の工夫について、表やグラフのよさに気付き、論に説得力をもたせる構成になっていることに着目しながら読み進めるのに適した教材である。
- 本単元に関しては、第4学年の「アップとルーズで伝える」で、段落相互の関係を考え、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているのかを考える学習をしてきている。本単元では、これらの上に立って、筆者の意図や表現の工夫について自分の考えをもつことができるようにする。このことは、第6学年の「『鳥獣戯画』を読む」で、筆者のものの見方を捉え、自分のものの見方を広げていく学習へと発展していく。

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、文章の構成や、事例の挙げ方、図表・写真に着目して、筆者の説明の工夫や図表を取り入れた意図について考えることができるようにする。そこで、筆者の説明の工夫について叙述をもとに読み進め、根拠をもとに自分の考えをつくり話し合う。そして、既習の説明文と比較することで本説明文の論の進め方のよさを読み深めさせる。

【本時（5/7）では、こんな表現活動を】

筆者の主張と事例2・3のつながりを読み取らせるために、文章構成図を使い、筆者の主張と事例の中の考えを線で結び、自分の体験とつないで考えることで、主張と事例のつながりを読み取ることができるようにする。

3 目標

- 事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取り、筆者の説明の工夫について自分の考えをもつことができるようにする。 (知識及び技能)
- 文章構成、図や表の使い方、事例の挙げ方などが筆者の主張を分かりやすくしていることを読み取ることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力) 【読むこと】
- 筆者の考えや説明の仕方に関心を持ち、課題意識をもちながら筆者の主張を意欲的に読み取り、根拠をもとに考えたことを進んで話し合おうとする態度を育てる。 (学びに向かう力)

4 単元計画（全7時間）

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	<p>1 教材文と出会い、単元のめあてと学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題名読みをする。 ○ 教材文を読み、初発の感想を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単元のめあて 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の経験とつないで題名読みをしたり、初発の感想を書いたりさせるために、考える視点を提示する。
つ く る ④ 本 時 (5 / 7)	<p>2 教材文を読み、筆者の主張と文章構成を捉える。</p> <p>(1) 筆者の考えと根拠となる事実について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの問いと答えを読み取る。 ○ 答えの根拠となる事実を読み取る。 <p>(2) 段落相互のつながりを考え、3つの問いと答えが連続する文章構成について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章構成図を作り、段落相互の関係を読み取る。 ○ 構成の工夫について話し合う。 <p>(3) 筆者の主張と事例とのつながりを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章構成図を使い、筆者の主張と事例1とのつながりを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いや考え、根拠となる事実を読み取らせるために、色分けして線を引かせる。 ○ 3つの問いと考えが順接的につながっていることを読み取らせるために、段落カードを準備する。 ○ 主張と事例のつながりを捉えさせるために、文章構成図を使い、筆者の主張と事例を線で結ぶ活動を仕組む。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章構成図を使い、筆者の主張と事例2・3とのつながりを読み取る。 (本時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主張と事例2とのつながりを捉えさせるために、自分の体験とつないで考させる。
深 め る ①	<p>3 図や表を使って説明するよさについて読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図表と本文を線で結びながら読み、図表を用いるよさについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図表を用いるよさについて読み取らせるために、拡大資料を掲示する。
生 か か す ①	<p>4 筆者の説明の仕方の工夫について、既習の説明文と比べながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「アップとルーズで伝える」と比べながら読み、「天気を予想する」の説明の仕方の工夫を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明の仕方の違いに気付かせるために、説明文マスターの⑦（小見出しを付ける）⑧（要旨を捉える）の視点を確認する。

5 本時主眼

- 文章構成図を使い、筆者の主張と事例を線でつなぐ活動を通して、事例2に挙げられている局地的・突発的な天気の変化が、「今、ここ」で天気の変化を予想することが大事だという要因が、書かれている筆者の主張とつながっていることを読み取ることができる。

6 準備 文章構成図（個人用・グループ用・拡大）

7 展開

段階	学習活動と内容	主な支援（※主な発問）						
つかむ	<p>1 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事例2・3と主張のつながりに着目し、本時学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>事例2・3から筆者がどのようにして主張へとつないだのか読み取ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習のめあてをつかませるために、既習図を掲示する。 ○ 自分の考えをつくらせるために、考えをつくる手順を提示する。 						
つくる	<p>2 筆者の主張につながる事例の挙げ方になっているか自分の考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の主張と事例のつながりについて、自分の考えをつくる。（表現活動②） ○ 線で結んだところを交流する。（班→全体） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事例2</th> <th style="width: 50%;">事例3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な天気の変化 ・局地的な天気の変化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分で空を見たり、風を感じたりすること ・天気に関することわざが有効な場合 </td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">筆者の主張</td> <td> <p>そのことをわすれず、科学的な天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、<u>自分でも天気に関する知識をもち、自分で空を見、風を感じることを大切にしたい</u></p> </td> </tr> </table> </div>	事例2	事例3	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な天気の変化 ・局地的な天気の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分で空を見たり、風を感じたりすること ・天気に関することわざが有効な場合 	筆者の主張	<p>そのことをわすれず、科学的な天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、<u>自分でも天気に関する知識をもち、自分で空を見、風を感じることを大切にしたい</u></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【表現活動②の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の中の考えと筆者の主張に着目する。 ・筆者の主張とつながる部分を線で結ぶ。 ・結んだところに自分の考えを書く。 </div> <p>※ 筆者はなぜ事例2を書いたのだろう。</p>
事例2	事例3							
<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な天気の変化 ・局地的な天気の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分で空を見たり、風を感じたりすること ・天気に関することわざが有効な場合 							
筆者の主張	<p>そのことをわすれず、科学的な天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、<u>自分でも天気に関する知識をもち、自分で空を見、風を感じることを大切にしたい</u></p>							
深める	<p>3 事例2の必要性について考える。（表現活動③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の主張と事例2のつながりについて考え、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「そのこと」は前の文を指しているよ。 ・「突発的な天気の変化」は「今」につながるよ。 ・「局地的な天気の変化」は「ここ」につながっているよ。 ○ 筆者の主張と事例2のつながりについて、自分の体験とつないで考え交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・黒い雲があると思ったら、土砂降りになった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>突発的・局地的な天気の変化とそれぞれの解決の手立てをつなぎ、主張でまとめている。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【表現活動③の目的・支援】</p> <p>自分の体験とつないで考えを交流することで、事例2と筆者の主張のつながりを読み取ることができる。</p> <p>グループ交流が活性化するように、交流のモデルを提示し、全員が自分の考えを述べるようにする。</p> </div>						
生かす	<p>4 「今日の学習で」を書いて本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りの視点に沿って「今日の学習で」を書く。 ○ 書いたことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えの深まりや伝え合う活動のよさを感じ取らせるために、「今日の学習で」の観点を示す。 ・説明の工夫について ・友だちとの交流で深まったこと 						